

中学部2年 生活単元学習 学習指導案

日 時：平成29年12月13日（水）

2、3校時（10:00～11:20）

場 所：中学部2年教室

指導者：木村沙織（T1） 菅一聡（T2）

1 単元名 「中2フラワーキューピット計画～地域に花をプレゼントしよう！パート3～」

2 単元の目標

知・技	・ろうやドライフラワーの扱い方が分かり、よりよいワックスバーを作る。
思判表	・ワックスバーのデザインを考えたり、上手くできたところやもっと頑張りたいところについて意見を出し合ったりする。
主体的	・地域の方にワックスバーをプレゼントして喜んでもらうという目的に向かい、協力して活動する。

3 生徒と単元

本学級は男子7名が在籍している。言葉でのコミュニケーションは可能であるが、自分の気持ちを表現することに苦手意識があったり、伝え方が分からなかったりと実態差がある。これまでの学習で、地域の方に喜んでもらおうとプランターを設置し清掃活動を行ったり、花を使った壁飾りをプレゼントしたりした。地域の方から感謝の言葉を掛けていただくことで、もっと喜んでもらいたいという気持ちを持ち、自分の役割に取り組むようになってきている。話合いや制作活動の場面では、友達の意見を受け入れることに難しさを感じ、自分の意見を通そうとすることがある一方で、友達の活動している姿を称賛することも見られるようになってきた。

本単元は生徒が自分たちで育てて加工したドライフラワーを使ってどのようなプレゼントができるか、インターネットで調べ、話し合っってワックスバーを作ることに決めた。ワックスバーは、壁飾りとして使用でき、贈る相手のことを考えて工夫ができる。また、季節や置き場所によってデザインを変えるなど工夫の幅があり、プレゼントに適している。ワックスバー作りを通して、デザインを友達と話合い、協力して活動し、友達の意見やよいところを認める姿が期待できる。そこで、地域の方にプレゼントするという同じ目的に向かって活動する中で、友達の意見を受け入れたり、友達のよさを認めたりすることで、地域の一員として活動していることを実感し、達成感を味わうことができると考え、本単元を設定した。

指導に当たって「主体的・対話的で深い学び」が実現するよう以下の点に留意する。

- ・相手のことを考えてワックスバーを作ることができるように校内職員や地域の方にアンケートを取る。
- ・よりよいワックスバー作りができるように、ろうやドライフラワーを使って雑貨を作っている地域の方を講師として飾り方や、効率のよい手順についてアドバイスをいただく機会を設定する。
- ・友達のよいところや意見を認め、協力して制作できるように、注目してほしい部分を教師が紹介したり、意見を出し合ったりする場面を設ける。
- ・生徒が前時を振り返り、よりよいワックスバー作りができるように、振り返り用シートを用意する。

4 指導計画 (総時数30時間)

小単元名	小単元の目標		学び方			主な活動内容	時数
			主	対	深		
(1) ワックスバーを作って届けよう！	知・技	・材料の扱い方を理解し、作り方を覚え、よりよいワックスバーを作る。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ワックスバー作りの全工程を体験する。 ・なかよしとつとや比内総合支所にワックスバーを届け、もらった意見を基によりよいワックスバー作りに向けて話し合う。 ・3つのグループに分かれ、意見を生かして、各担当で活動を進める。 	6時間
	思判表	・上手くできた部分や改善点を自分で考え、意見を出し合う。					
	主体的	・地域の方に届けるということ意識して、よいものを作ろうと、自分の担当する役割に意欲的に取り組む。					
(2) お世話になった方にクリスマスプレゼントを届けよう！	思判表	・校内職員や地域の方からのアンケートを基に、デザインの意見を出し合いワックスバー作りに取り組む。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートを基にデザインを考える。 ・ワックスバーを作る。 ・校内職員にワックスバーを届け、もっと良くしたい点を話し合う。 ・なかよしとつとや比内総合支所、大館南ガーデンにプレゼントするため、どんなワックスバーがよいか事前アンケートを取る。 ・校内職員や地域の講師の方からの助言を生かしワックスバーを作る。 ・出来上がったワックスバーを届ける。 	6時間
	主体的	・地域の方に喜んでもらうために、届ける相手のことを考えて、よりよいワックスバーを作る。					14時間 (7.8/14)
(3) ワックスバー作りの新聞を作ろう！	思判表	・頑張ったところや工夫したところを振り返り、自分の言葉で新聞にまとめる。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を振り返り、新聞にまとめる。 ・学部集会で発表を行う。 	4時間
	主体的	・活動の頑張りを実感し、達成感を味わう。					

5 本時の計画

(1) 本時の目標

思判表	・自分や友達の工夫や頑張りに気付き、理由を添えて発表する。
主体的	・本時のめあてを意識し、グループの友達と協力してワックスバー作りに取り組む。

(2) 学習過程

時間	学習活動	手立てと配慮点	評価の観点
10:00 (10分)	1 はじめの会をする (1) 皆で全体のめあてを言う	・よいワックスバーを作るためにプレゼントする日までの日程を、計画表を使って伝える。 T1	・ワックスバー作りに意欲をもつことができたか。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">本時のめあて</div> みんなで、地域の方が喜ぶワックスバーを作る。 (2) 前時の振り返りと今日のポイント	・前時の振り返りで出た意見を取り上げ、本時で取り組んでほしいワックスバー作りのポイントについて発問する。 T1	
10:10 (15分)	2 ワックスバーのデザインを話し合う (グループごと)	・教わったことを生かして制作できるように地域の講師からのアドバイスを提示する。 T1 ・グループでワックスバーのデザインができるように地域の方からもらったアンケートの内容を提示する。 T1 ・よいデザインができるようにポイントを絞って伝える。 T1	・デザインについて意見を出すことができたか。
10:25 (30分)	3 ワックスバーを制作する <1グループ> A、B <2グループ> C、D <3グループ> E、F、G	・グループごとのデザインをベースとして制作できるように、各テーブルの定位置にデザインしたものを配置する。 T1 ・同じグループの友達を参考にできるように、適宜活動の合間に、よいところを称賛する。 T1、T2 ・本時のめあてを達成できるように活動の様子を見ながら活動がうまくいくコツについて話題を出す。 T1、T2	・めあてを意識し、ワックスバーの制作に取り組んだか。
10:55 (25分)	まとめの会をする (1) 活動を振り返る (2) 今日の活動報告 (3) 先生の話 (4) 次時の活動について	・理由を添えて発表ができるように、発問したり、きっかけとなるキーワードを伝えたりする。 T1…1、2グループ T2…3グループ ・意見を整理することができるようにシートを提示する。 T1 ・活動報告では、本時の振り返りや次時のめあて設定の手掛かりとして活用できるように発表内容をキーワードとして短冊に書く。 T2 ・本時のめあてが評価できるように、地域の方からのアンケート結果に沿ったワックスバー作りができたか発問する。 T1 ・次時の制作への意欲を高め、地域の方のためによりよいワックスバーを作ることができるように、ワックスバー作りの最終回であることや協力して取り組むことを伝える。 T1	・本時の活動に対する自己評価ができたか。 ・自分や友達の頑張りや課題が分かったか。 ・次時の活動に意欲をもつことができたか。

(3) 本時の評価

生徒側・デザインについて一つ以上アイデアを出したり、自分や友達の上手くできたところやもっと頑張りたいところに気付いたりすることができたか。

- ・本時のめあてを達成したり、グループの友達と協力したりして、ワックスバー作りに取り組むことができたか。

教師側・生徒同士で考え、意見を伝え合って活動を進めるための環境設定は適切であったか。

- ・本時のめあてを達成し、グループの友達と話し合いながら活動するための支援ができていたか。

(4) 環境設定について

